

平成30年度のごみ減量・分別施策について

| 【ごみ処理基本計画における実施・検討すべき施策】 |   | 【課題・対応方向等】   |      | 区分   |      | H29年度の取組み   |  | H30年度の取組み |  |
|--------------------------|---|--|------|--|------|---|--|-----------|--|
| 生活ごみ                     | <b>1. 広報・啓発の強化</b><br>①若者・集合住宅・短期居住者への働きかけ<br>②実践につながる情報提供<br>③ごみ減量状況の分かりやすい公表<br>④子どもへの教育・啓発、出前講座<br>⑤市民参加型イベント・キャンペーン | ・関心低い層に届く仕掛け<br>・具体の行動につながる取組<br>⇒関係者とともに企画実施<br>⇒新たな切り口の取組み<br>⇒進捗・分かりやすい広報   | 生活ごみ | 広報啓発<br>①WAKE UP!!(ワケアップ)仙台<br>・企画段階から市民協働<br>・ワケアップキャンパス<br>②市政だより(毎月)、ごみ分別アプリ<br>③ごみ量速報<br>・市政だより、区窓口大気モニター活用<br>④イベント、出前講座、他局連携<br>⑤せんだい資源ナーレ(H30.1月) | 生活ごみ | <b>■WAKE UP!! (ワケアップ) 仙台</b><br><br>「アメニティ・せんだい推進協議会」「レジ袋削減懇談会」「まち美化ネットワーク」を再編統合するとともに、その中の1つに企画検討部会を設け、市民・事業者との協働による企画段階からの取組みを強化する。   |  |           |  |
|                          | <b>2. 地域等との連携によるごみ減量</b><br>①クリーン推進員・町内会・子供会との連携<br>②効果的な取組を広げる仕組みの検討   | ・クリーン仙台推進員の増<br>⇒多様な主体へ働きかけ<br>⇒好事例の横展開  |      | 地域連携<br>①ごみ減量キャラバン(H29.10月)<br>②排出実態調査、集積所五つ星診断<br>※クリーン仙台推進員(前年比で約100人の増)   |      | <b>■生ごみ・食品ロス対策</b><br><br>秋のごみ減量キャンペーンとして、生ごみ・食品ロス対策を実施し、イベントでのフードドライブの実施などで市民参加を呼びかけ減量・分別を推進する。<br>また、国の補助制度を活用し、食品ロスの市民アンケート調査や発生抑制に係る啓発等による減量や、地域で生ごみを堆肥化し花壇づくり等への活用など市民協働による取組みを推進する。 |  |           |  |
|                          | <b>3. 生ごみの減量</b><br>①3切る(使い切る・食べきる・水を切る)<br>②堆肥化容器・電気式生ごみ処理機<br>③乾燥生ごみと野菜の交換  | 1. に同じ   |      | 生ごみ<br>①3切る啓発、食育との連携<br>②生ごみ処理機等補助<br>モットイナイキッチン(H29.9月～)<br>フードドライブ(H29.9月エコフェスタ)<br>食品ロス実態調査(H29.11月)<br>・環境省支援事業活用                                    |      | <b>■高齢者等地域ごみ出し支援活動促進事業【新規】</b><br><br>高齢や障害等によりごみ出しが困難な世帯に対し、地域の団体が行うごみ出し支援活動に奨励金を交付することにより、その支援活動を促進し、ごみ出しが困難な世帯の負担軽減を図る。  |  |           |  |
|                          | <b>4. 紙類の資源化</b><br>①集団資源回収や資源回収庫<br>②地域連携で排出実態把握・ルール徹底<br>③ライフスタイル変化に対応した排出仕組み(紙製容器包装)                                 | 1. に同じ<br><b>《紙製容器包装》</b><br>・収集運搬、処理施設確保<br>※コーティングされた複合品<br><br> ←このマークが目印 |      | 紙類<br>①集団資源回収、紙類定期回収<br>②排出ルール徹底<br>③紙製容器包装の分別回収と資源化<br>・具体案、方針決定<br>④モットイナイで108万人の紙類回収キャンペーン<br>・スーパーや古紙回収業者の協力   |      | <b>■ごみ減量・リサイクル推進に向けた新たなごみ分別モデル事業【新規】</b><br><br>現在、家庭ごみとして排出され焼却処理している「剪定枝」及び「コーティング加工された紙製容器包装」について、既存の収集体制を活用し、収集及び資源化するモデル事業を行い、燃やすごみ量の削減とリサイクル率の向上を図る。                                |  |           |  |
|                          | <b>5. プラ容器包装の資源化</b><br>①分け方やリサイクルの状況の広報啓発<br>②ライフスタイル変化に対応した排出仕組み  | 1. に同じ   |      | プラ容器<br>①分別資源化啓発<br>・混入注意喚起ポスターの配布・貼付  |      | <b>■小型家電ピックアップ回収</b><br><br>粗大ごみで収集した中から小型家電をピックアップし、より良質な金属リサイクルを実施する。   |  |           |  |
|                          | <b>6. 剪定枝の分別・リサイクルの具体的検討</b>  | <b>《剪定枝》</b><br>・収集運搬、処理施設確保   |      | 剪定枝<br>分別収集・資源化を検討<br>・具体案、方針決定  |      |   |  |           |  |
|                          | <b>7. その他リサイクル</b>  | 1. に同じ   |      | 他<br>小型家電リサイクル<br>・メダルプロジェクト、ピックアップ実証事業  |      |   |  |           |  |
| 事業ごみ                     | <b>1. 事業者への啓発・分別指導の強化</b><br>①取組評価手法の具体的検討  | ・指導啓発強化<br>⇒大規模多量立入調査体制強化<br>・取組評価手法   | 事業ごみ | 指導啓発<br>①大規模多量事業者立入調査・研修等<br>・専任チームで立入調査強化<br>・立入件数281件(H28年度184件)   | 事業ごみ | <b>■事業者の展開検査による適正排出指導の強化</b><br><br>清掃工場に設置した展開検査装置を使用し、専任の検査員による検査や、その結果に基づく排出事業者への訪問指導を実施する。実施にあたっては、収集運搬事業者との連携等により現場対応力を強化し、具体的排出状況を踏まえた指導啓発とする。                                      |  |           |  |
|                          | <b>2. 処理費用負担のあり方の具体的検討</b>  | ・処理費用負担の見直し<br>⇒条例改正(H30.4月施行)   |      | 手数料<br>①手数料改定関連広報・周知<br>・工場や環境施設の窓口でチラシ配布<br>・収集運搬許可業者と連携  |      | <b>■事業者のごみ分別・リサイクル環境づくり</b><br><br>事業者のごみ分別やリサイクル推進のため、研修会、出前講座の実施や、事業系生ごみ処理機及び複数の事業者による共同資源物回収庫の設置に対する補助を引き続き実施していく。   |  |           |  |
|                          | <b>3. 生ごみの減量</b><br>①食品関連事業者への働きかけ  | ・効果的な働きかけ<br>⇒処理機補助<br>・民間事業者との意見交換  |      | 生ごみ<br>①食品関連事業者へ働きかけ<br>・生ごみ処理機補助(4件)  |      |   |  |           |  |
|                          | <b>4. 再生可能な紙類のリサイクル</b><br>①展開検査の強化<br>②事業者分別訪問指導・事業ごみ出前講座  | ・展開検査強化<br>⇒検査装置導入<br>・検査を踏まえた指導啓発の継続  |      | 紙類等<br>①展開検査装置導入(H30.1月)<br>②事業者訪問指導・出前講座<br>③事業系紙類回収支援<br>・無料回収ステーションの使用促進<br>・共同資源物回収庫設置費補助(1件)  |      |   |  |           |  |